

# 災害事例

災害発生年月：令和6年1月  
工事の種類：林業  
災害の種類：激突され  
被災の状況：死亡1名

## 伐倒木が岩にぶつかり、跳ね返って、被災者に激突

### < 災害発生状況略図 >

#### 発災発生状況

- 1 被災者は、皆伐を行う林産の現場でチェーンソーによる伐木作業を行っていた。
- 2 伐倒した立木（スギ）が、付近の岩にぶつかり、跳ね返って伐倒木の元口が被災者に激突した。

#### 発生原因

- 1 集積作業の効率化を優先するあまり伐倒木を危険とされる斜面上方に倒したこと。
- 2 伐倒後の退避が出来ていない、もしくは不十分であったこと。
- 3 伐倒した方向に岩があり、その岩に当たったため、通常の倒れるスピードより速く元口が跳ね返ってきたこと。
- 4 伐倒の作業順序や方法等について、現場班長に任せとし、伐木作業等を行う地形や立木の状況に応じた作業方法等になっていたこと。

#### 再発防止対策

- 1 斜面の立木の伐倒方向については、斜面下方向、斜面斜め下方向に又は斜面横方向に倒すこと。
- 2 伐倒後に安全な場所に退避させること。（安全な場所へ退避させるため、あらかじめ、退避場所を選定し、退避路を整備して、退避する時間を確保するため、クサビを2本以上使用して伐倒すること。）
- 3 岩の上に倒れた伐倒木は、その挙動が予測できず、伐倒者に飛来する危険があるため、岩の上に倒さないよう伐倒方向を選定すること。
- 4 伐倒の作業順序や方法について、あらかじめ、伐木等作業を行う範囲の地形や立木の状況等の調査結果に基づいて、安全な伐倒順序や伐倒方向を定め、誤った作業を行わないよう管理すること。

